

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 生 業	(ふりがな) なりわい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	山 塩		
伝承地域	只見町 塩沢		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 文化6年(1809)の「新編会津風土記」に「村中に塩井あり。村名の起こりし所という」と記され、弘法大師(空海)によって発見されたとする伝説があり、昔から塩の生産地として有名であった。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 塩沢の山塩の製塩は、明治37年までと戦後の一時期に行われていた。「新編会津風土記」によれば、江戸時代には塩焼き小屋が6軒あり、村民が農業の傍ら良質の塩の生産に従事し他村に売り出したことが記されており、かなり盛んに製塩がおこなわれていた。専売法施行の明治38年には製塩工場ができ、一昼夜に2斗カマスで2俵の塩を生産している。旧塩沢村には、塩釜神社が祀られている。 山深い内陸で塩が出るのは少なく、県内での山塩生産は、塩沢と北塩原村大塩、喜多方市山都町一ノ木など会津地方が多い。		
文化財等の指定状況	山塩生産の絵図：只見町指定有形民俗文化財 (平成13年4月23日指定)		
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話0241-82-5320	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢	男 ・ 女 歳	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話	
団体	職 業		
	団体名 (ふりがな)		
	代表者氏名 (ふりがな)		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	
	問い合わせ先	電話	

【フリーフォーマット】

キーワード

<製塩工場の模型>



(只見町山塩記念館)

- ①左側の槽が塩井。ここから手もみポンプで塩水を汲みあげる。
- ②汲みあげられた塩水は、工場の釜へ入れられ沸騰させて、不純物を沈殿させる。
- ③次の釜へ上澄みの塩水を移し、煮立てて製塩する。